

<b>NO 2010</b>		レジメン名		<b>C-MOPP(備考あり)</b>			
病棟	患者番号	氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
			年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)
			歳	cm	kg	m <sup>2</sup>	ml/min (mg/dl)
【適応がん種】HL		CPA/VCR/PCZ/PSL		CCr補正	GOT補正	T-Bil補正	【病状】 1 全て説明している 2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない 3 未告知である 【治療】 1 抗癌剤による治療・予防と説明 2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明 3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明 4 薬に關しては説明していない 平成22年11月8日 改訂
1・エンドキサン	650 mg/m <sup>2</sup>	DAY1. 8		45~	180~	3.1~禁5.1	
2・オンコビン	1.4 mg/m <sup>2</sup>	DAY1. 8 (最大2mgまで)		-	60~禁180	1.5~禁3.1	
3・プロカルバジン	100 mg/m <sup>2</sup>	DAY1~14 (最大150mgまで)		-	-	-	
4・プレドニン内服	40 mg/m <sup>2</sup>	DAY1~14 28日(4週)1クール		WBC基準	HGB基準	PLT基準	
NO 薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法			
① グラニセトロン「NK」1mg		1 本	★生食50mL	15分で点滴			
② エンドキサン( )mg	500mg	本	生食500mL	①グラニセトロン終了後～  90分で点滴			
	100mg	本					
③ オンコビン( )mg	1mg	本	★生食50mL	②エンドキサン終了後～  全開で投与			
④ ★生食50mL		1 本		③オンコビン終了後～  全開で点滴			
プロカルバジン 100mg/m <sup>2</sup> (最大150mgまで) 分2～分3							
⑤ ⇒プロカルバジン50mg ( )錠( ) 14日分;オーダー(処方箋)で投薬 2週間服用 2週間休み							
プレドニン 40mg/m <sup>2</sup> 分3;ただし、2コース目・3コース目は投薬なし							
⑥ ⇒プレドニン5mg ( )錠( ) 14日分;オーダー(処方箋)で投薬 2週間服用 2週間休み							

★3万円/28日1クール			★2時間			201011更新	
月日	うら面オーダー必要	指示医	受け	うら面確認必要	調監	前確	実施
		①②③④⑤⑥	DAY1				
		①②③④	DAY8				
		休み	DAY15				
		休み	DAY22				

NO 210



備考

【副作用に関して参考資料】……悪性リンパ腫治療マニュアルより

- 治療28日目のWBC4000以上 PLT10万以上→100%投与
- 治療28日目のWBC3000～3999 →エンドキサン、プロカルバジンは75%量へ
- 治療28日目のWBC2000～2999 →エンドキサン、プロカルバジンは50%量へ
- 治療28日目のWBC1000～1999 PLT5万～9万9999→エンドキサン、プロカルバジンは25%へ オンコピンは50%へ
- 治療28日目のWBC1000以下 PLT5万以下→投与中止
- GOT正常上限の2.5倍以上またはT-Bil 2mg/dL以上の場合は回復までまつ
- 出血性膀胱炎を合併した場合はエンドキサンを中止し、膀胱炎が軽快した後は十分輸液を行いながらエンドキサンを50%減量して様子みる、またウロミテキサンの投与を考慮する
- 明らかな筋力低下、高度の知覚異常や頑固な便秘が出現した場合オンコピンを中止し、症状の軽快を待って投与再開する  
麻痺性イレウスの場合は全治療を中断する。ただし軽度の知覚異常や深部腱反射の消失に対しては減量せずに注意深く続け
- プロカルバジンによる薬疹は軽度の場合はそのサイクルだけプロカルバジンの中断で治療が続行できることが多い
- 高熱や肝障害を伴う場合は中止すべき